

Kazuki Hiramine

Race Report

Date : 2017年5月21日 Event : Super GT Round 3 Team : JLOC Class : 300 Class

Driver : Dr1 織戸学 Dr2 平峰一貴 Car : Lamborghini Huracan GT3 Circuit : Autopolis

Qualify 1 平峰一貴 P20 Time 1'46.479

Q1を担当したが、まさかの敗退。正直に言うと自分がQ1を通過出来なかった事がとても悔しい。しかも20番手！？という気持ちでした。精一杯アタックしてこの位置か！と本当に信じられませんでした。単純にスピードが足りない。他車に比べてもストレートスピードが全く足りませんでした。コーナーリング中の車のバランスは悪くはなかったのですが。。。チームと話し合った結果、山の上のサーキットだったので気圧の問題でパワーがでないのか？と考えました。とは言ってもそこはどうにも出来ないのです、何でリカバリするかが重要。決勝に向けてのストラテジーも入念に話し合いました

Race Finished P16

スタートは織戸選手。パワー不足からストレートで話されるし、簡単に抜かれてしまう。しかし車のバランスは良かったので、まさかの無交換作戦で自身に交代しコースへ復帰。少しでもピットで前が出る作戦でしたが、コース上でのスピードが全く足りませんでした。タイヤマネジメントをしながら最後まで懸命に攻め続けてやりきった。悪い状況の中でも完走し、データを持ち帰れました。

ポイント獲得とはなりませんでしたが、レース中に沢山のライバルと戦えたし、何処で他車と差があるのかを見る事が出来ました。これをチームにフィードバックして次へ繋げたい。

Summery

今大会は、何とか流れを変えようと全力で取り組みましたが、殆ど良い所のないレースウィークとなりました。開幕戦からの状況を考えると結果的に言えば、違う方向へと向かってしまっていると思われます。もう一度、昨年からのデータを元に自分自身と車のセットアップを見直し次戦に向けての準備を進めます。自分達に今必要なのは戻すという勇気だと強く思っています。それは、今までの結果をベースに見ると分かる事だと思いますし、自分自身の力不足も痛感しています。こういう時こそ踏ん張る気持ちをしっかり持って、必ず結果を残すように一生懸命取り組みます。

引き続き、応援宜しくお願い致します。



